



連携事例17

R5.8 更新

# 子育て応援メッセinふなばし

ちば  
コラボ大賞  
受賞事例



## ■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

## ■事業運営団体

子育て応援メッセinふなばし実行委員会

## ■協働パートナー

- ☆NPO法人子ども劇場千葉県センター
- ☆こども人権ネットちば
- ☆NPO法人世界のともだち ほか計31団体

## ■事業費

およそ30万円（開催規模により異なる）

## ■資金調達手段

助成金・寄附

子育て支援の取り組みなので参加費無料です。

## 事業概要

毎年10月中～下旬の日曜日、船橋市中央公民館の全館（5階）を使い、10時から15時まで、子育てをしているすべての市民を対象に、講演、ワークショップ、相談・交流コーナー、情報展示ブースなどを通して触れ合いを楽しんでいる。コロナ期はオンライン開催となり、それをきっかけに以降は一部Zoomイベントも開催している。

## 協働までの経緯

21年前は地域の子育て支援の情報が一元化されておらず、各団体がバラバラに活動をしていた。「ふなばし・あいプラン」作成の市民ワークショップが開催されたことをきっかけに、上記の問題点が共有され、交流の場と、市内にある子育て支援の情報を子育て家庭に届けるために「子育て応援メッセinふなばし」の実行委員会を立ち上げ、年に1回秋に一堂に会することにした。

## 主な事業内容(年間スケジュール等)

毎年10月中～下旬の日曜日、船橋市中央公民館の全館（5階）を使い、10時から15時まで、子育てをしているすべての市民を対象に、講演、ワークショップ、相談・交流コーナー、情報展示ブースなどを通して触れ合いを楽しんでいる。連携している団体は毎年30団体程で、NPO法人、医療関係者、栄養士などの専門家、地域の子育て団体や社会福祉協議会などと多く、すそ野の広さも目指している。社会状況の変化に伴い、年々、新しい子育て支援活動が生まれている。ネットとは異なり、不安を感じているママ・パパと繋がり、対面で安心して「生の交流」ができる取り組みであり、子育て支援団体のネットワークを広げ、つなげる場でもある。

## ● 主な協働パートナーとの役割分担

各協働パートナーが実施している支援を参加者に対して行う。

以下支援内容抜粋。 【NPO】

ちばMDエコネット：障害の有無にかかわらず共に生きる社会の実現を目指す取り組み

しゅっぱぽぽ：家庭訪問型子育て支援

子ども劇場支援センター：「ママパパラインちば」による電話相談 ほか

## ● 協働事業によって生まれた成果

参加者アンケートからは、地域で応援してくれる人々がいることを知り安心感と、役立つ子育て情報を得ることができた喜びと感謝の声が多数寄せられる。

応援メッセでのつながりが年間を通してのネットワークにもつながっている。

行政の子育て支援は平日に行われるが、日曜日に子育て支援事業を行うことで、仕事を持つママやパパが参加しやすくなっている。特にパパの育児に関わる意識が高まってきており、熱心に参加するパパの姿に違和感はなく、夫婦で協力して子育てする姿は見ていてほほえましく安心感がある。

## ● 今後力を入れていきたいこと

船橋市は 2025 年に人口のピークを迎えるといわれているが、利便性の良さからマンション建設が続き、若い世代の流入も当分続くであろう。だからこそ、小さなことで不安を感じているお母さんたちと繋がる、ネットとは異なる、対面で「生の交流」が出来るこの子育て応援メッセの重要性はますます増すと思われることから、若い世代からシニア世代まで世代を超えた交流を大事にしていきたい。



## ♡ コラボのコツ!!

★届けたい対象への情報の届け方！

★関わる団体の多様さ！

市内の子育て家庭に知らせる為に、船橋市の広報はもちろん、幼稚園、保育園に市役所経由でチラシを配布している。

県の小児科医会を始め、船橋市の医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、私立幼稚園連合会、保育協議会、商工会議所、助産師会、栄養士会の後援を得ている。

医師、栄養士の専門家、子育て支援センターなどの行政サイド、地域の子育て関連団体なども巻き込み、すそ野の広さも目指している。

「10代の子どもの命の学習」として、市内の小学校4~6年生、15名を対象に、命の学習と明石ちゃんのふれあい交流を実施している。参加者の感想文からは毎回、新鮮な驚き、感動が伝わってくる。



## 協働事例プロフィール

【活動開始年】2003年10月 【活動のPR手法】HP<https://messe-funabashi.com/> チラシ、FBなど

【この事業で活用した補助金】千葉県小児科医会「小児救急啓発事業」助成

【表彰歴】平成22年度 日本小児保健協会より第8回実践活動助成 / 平成29年度ちばコラボ大賞  
令和2年度 船橋翼ライオンズクラブ「まちづくり・ひとづくり『夢』応援プロジェクト」

【問い合わせ先】担当者：子育て応援メッセinふなばし実行委員会 事務局長 大森 由里子

電話番号：047-424-2240 メールアドレス：manekineko@mtd.biglobe.ne.jp